

＊当時、クエン酸がシャボン玉石けん社の商品になかったため、パウダーリンスのご紹介になっていますが、成分はクエン酸そのものです。2015年秋～クエン酸もお取り扱い開始しています。

(ナチュラルな暮らしを楽しむその⑤ 157号参照)

おきさちさんのコラム

ナチュラルクリーニング

〈今回使ったアイテム〉

- パウダーリンス (クエン酸)
- 重曹



その⑦ 「今年も、最小限の手間で、ピカピカに見せる手抜きワザ！」

あけましておめでとうございます。去年は「汚れの付かない暮らし方」をご紹介しましたが、今年は「最小限の手間で、ピカピカに見える方法」です。例のごとく手抜きワザですから、家じゅうキレイにはしません、悪しからず(笑)。

お正月もあけると、家族や親戚以外のお客様もあると思います。お皿洗いを手伝ってもらう際などに、人目に触れる部分もあるでしょう。きれいにさせるには、「光る部分や、光るものを輝かせる」の手取り早い方法。具体的には、水道の蛇口やシンクなどの水回り、洗面台の鏡、テーブルに置かれたグラスやスプーン、フォーク、ナイフなどがポイントです。

水道の蛇口のくすみやカリカリした白い汚れは、水に含まれるカルシウム分などのミネラルが固まった「水あか」です。食器用の洗剤や石けんでは落ちません。なぜならこれらはアルカリ性の汚れ。つまり「酸」で溶かさないと落ちないのです。落とすためには「**パウダーリンス**」(クエン酸)を使います。蛇口周りにキッチンペーパーやぼろきれをぐるぐる巻きにして、濃いクエン酸水(200ccの水に小さじ2杯の「**パウダーリンス**」を溶かしたものを、吹きかけて湿布します。2時間ほど放置すると白っぽいくすみやカリカリの塊がゆるむので、そこに重曹をふりかけてぼろきれや歯ブラシで磨くだけ。プラチナの指輪のようにつるつる、キラキラと光る蛇口が現れますよ。こん



キッチンペーパーでミイラ状態しておやすみなさい。手が荒れないのでお風呂の後でも作業が快適。翌朝剥がして重曹で磨くとつるつるピカピカ

な頑固な汚れが、素手で触れる素材で落とせるなんてびっくりでしょう?シンクの内側も同様、キッチンペーパーをクエン酸水で湿らせながら貼り付けて上からラップをかけて湿布してから「**重曹**」で磨きます。お風呂場の鏡も同じです。洗面台の鏡はそこまで頑固ではないので、薄いクエン酸水(小さじ1杯を溶かしたもの)でも十分です。



銀の変色も戻ります。取れないときは重曹ごと、お湯に漬けてこもといオンの反応できれいに

透明なガラスのグラスも、同じようにクエン酸水を多めに作って数時間漬けてこもといから「**重曹**」で磨くとピカピカになります。細かい部分は歯ブラシを使っても。

スプーンやフォークだけは、最初から「**重曹**」を使います。銀でもステンレスでも、粉のままふりかけて濡れた手やぼろきれで磨くだけで見違えるようにピカピカになります。

光る部分の汚れは、腐食を心配するからか、きれいにする方法を知らなかった方もいらっしゃると思います。ステンレスなら「**パウダーリンス**」や「**重曹**」では腐食しませんのでご安心を(鉄の場合、塩や「**パウダーリンス**」で腐食することもあります)。汚れの正体を知ると、実は汚くないと思えますし、落とすのも意外と簡単。今年もゆるーく楽な暮らしを一緒に楽しみましょうね。



興 幸子(おきさちこ)さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、社団法人アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー